

——「アメイジンググレイス」などの讃美歌から、「聖者の行進」はじめスタンダード曲の数々——

# ニューオリンズ Family Concert ジャズコンサート



20世紀初頭の  
古典的トラッドジャズを  
継承するジャズバンド。

演奏

ニューオリンズ  
ジャズハウズ

加藤 晋一 (トランペット)  
田村麻紀子 (クラリネット)  
山本 広介 (トロンボーン)  
公平 昭浩 (バンジョー)  
東海林幹雄 (リーダー・ピアノ)  
伊藤 譲一 (ベース)  
三輪 朋彦 (ドラムス)

7名のフル編成

2018 **10/8** 月・祝 14:00~15:20 (受付13:30~)

会場 日本福音ルーテル熊本教会 チャペル

Tel 096-352-1772 熊本市中央区水道町1-21

\*駐車場はございませんので、公共交通機関もしくは周辺の有料駐車場をご利用ください。

ルーテル熊本教会

肥後銀行

国道3号線

ローソン

水道町電停

鶴屋東館

水道町  
交差点

YMCA  
会場  
駐車場有

東部センター (帯山)  
**10/6** [土] 18:30~19:50  
(受付18:00~)  
Tel 096-382-6661

みなみセンター (田迎)  
**10/7** [日] 11:00~12:20  
(受付10:30~)  
Tel 096-378-9370

むさしセンター (武蔵ヶ丘)  
**10/7** [日] 15:00~16:20  
(受付14:30~)  
Tel 096-248-6334

■入場料: 一般2,000円 中・高生1,000円 小学生500円 幼児無料 (保護者同伴) 当日各会場で受け付けます

# New Orleans Jazz Hounds

ニューオーリンズ・ジャズハウズ

早稲田大学ニューオーリンズ・ジャズ研究会シニアが中心メンバー。浅草をはじめ、全国で活躍中。2008年のニューオーリンズ・ジャズ&ヘリティージ・フェスティバルでも高い評価を得る。(検YouTube)

## ●ニューオーリンズ・ジャズとは

ジャズ発祥の地・ルイジアナ州の黒人奴隷は、緩やかな扱いを受けていました。週一度の休み、集会、楽器の使用も自由。ニューオーリンズの有名なコンゴ広場での集会では、アフリカでの音楽、カリブや、フランス風(かつて植民地の歴史)の音楽を楽しんでいました。19世紀半ばの米国・南北戦争後、軍楽隊の管楽器が大量に放出さ

れ、それらを黒人たちは、見様見まねで演奏し、ジャズが誕生したと言われていました。

彼らが出会った代表的西洋音楽は教会での讃美歌。世界各国の移民が持ってきた民謡なども、ジャズのルーツに影響を与えました。虐げられ、差別的社会に生きる彼らの演奏したニューオーリンズ・ジャズは、弱い立場にある人々へ希望と勇気を与える「平和の音楽」と言われます。

### 解説

#### ニューオーリンズ・ジャズハウズと熊本YMCAの縁

熊本洋学校卒業生で熊本バンドの一人、海老名弾正は同校の流れを継ぐ熊本英学校の校長として明治22年熊本に赴任。福田令寿熊本YMCA初代理事長はその英学校第一期生。教師の一人に熊本草葉町教会宣教師も務めたシドニー・ギュリックがいました。(弟ルーサー・ギュリックは米国YMCA主事、バスケットボールの発案や、YMCAの赤▽マークを考案しました)。

シドニー・ギュリックは後に同志社等で長年教えます。同志社カレッジソングは、当時、米国YMCAから派遣され、近江兄弟社を興した盟友で建築家のW.M.ヴォーリズとの共作です。

ギュリックは大正2年に帰国後、米国での日本人移民排斥運動に直面。そこで旧知の実業家、渋沢栄一(環太平洋YMCA議長)と両国の将来の平和を担う、日米の子どもたちを対象に、全米の教会学校、YM・YWCA、ガールスカウト等の協力のもと「日米友情人形交流事業」を始めました。

昭和2年2月米国から横浜へ約12,000体の人形が到着。全国の小学校と幼稚園へ送られました。同年秋、58体の市松人形が日本の都道府県単位

で米国各州へ答礼として送られました。しかし、第二次世界大戦中、米国からのお人形たちは、敵のスパイとして、破壊されました。今日、約300体のみが現存。八代には宮原小学校と鏡小学校に各1体が学校の宝として大切に保管されています。

昭和2年の熊本からの答礼人形は、ルイジアナ州立博物館へ。しかし、博物館のコレクション内で紛失。これを知った熊本市民有志と熊本YMCAは、1987年ギュリックの孫ギュリック三世を熊本へ招き、新日米友情人形交流事業を再開。男女2体の市松人形を同州へ送りました。今回は、州の判断でニューオーリンズYMCAが州を代表し、館内に展示保管することとなりました。

しかし、2005年のハリケーン・カトリーナは、この2体の日本人形を流失させました。

ニューオーリンズ市とニューオーリンズYMCA被災復興支援のため、2007年秋に熊本・八代・鹿児島 の3都市で、市民有志、各地ワイズメンクラブ、熊本YMCAは、ニューオーリンズより実力派ジャズバンドを招き、総計約1,500名が集うチャリティコンサートを開催しました。

その折、東京会場(渋谷の日本基督教団山手教会)の責任者が「ニューオーリンズ・ジャズハウズ」リーダー・東海林幹雄さん。以来、ジャズハウズと熊本YMCAは交流を行っています。